

全産業分野の未来像と商品の付加価値アップの法則を提示する 「メガトレンド」シリーズ

メガトレンド2019-2028 全産業編

10年後までの変化を読み切り、
戦略策定の基礎となる社会と全産業の未来像を
提示する。

本レポートは、未来に関連する膨大な文献や統計データを人・社会・技術のライフサイクルの視点で分析し、これから起きるであろう劇的な変化を「57のメガトレンド」に集約、それらが全産業分野に何をもたらすかを提示します。また、メガトレンドに関連する「課題」と「打ち手」をイシューツリー構造にまとめ、分野別の「未来年表」、市場規模関連情報、世界の先駆的事例・アイデアに関する情報を掲載することで、事業・ビジネス化視点のコンテンツも網羅しています。構想・執筆に3年、アップデートに5年、通算8年の時間を費やし、全産業分野の変化と未来像を、約1200ページのボリュームで描き出す「未来予測の決定版」です。第10章「人間らしさと幸福：変わる労働と休息の関係」では、約80ページを割いて次なるメガトレンドである「幸せ」について展望しています。

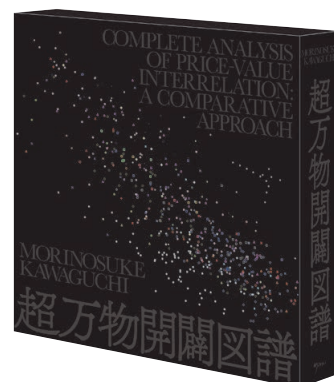


- 著者：川口 盛之助
- 2018年12月19日発行
- レポート：A4判、1168ページ
- 書籍付属CD-ROM：本体に掲載された図表を収録
- 価格
 - 書籍のみ：660,000円（10%税込）
 - ※本商品にオンラインサービスはありません。
- 発行：日経BP

超万物開關図譜

2400種類のモノの価値密度を分析評価し、
付加価値アップの法則を提示する。

『超万物開關図譜』は「重量単価」という切り口で、世界と日本のあらゆる商品进行分析し、付加価値アップの法則を明らかにしたレポートです。創意工夫の成果が反映されればされるほど価値の密度が高まり、重量単価は上がるはず。そこで農林水産物、医薬品、エネルギー源、有機系組成物、電子材料、金属、不織布、産業機器、モビリティ、コンピューター、家電品、医療用機器、電子部品、巨大建造物、嗜好品、超高級品など、30のテーマに分類した約2400種類のモノの重量単価を比較評価しました。幅広い分野・領域のモノの価値を見比べることで、付加価値アップのメカニズムが明らかになります。未来学者の川口盛之助氏が、事業・商品開発に役立つよう分かりやすく解説するとともに、付加価値アップのための「200の示唆」、「10大法則」、「3つの動機」を提示。日本のモノづくりの進むべき道筋を考察します。



- 著者：川口 盛之助
- 2021年3月17日発行
- レポート：A3変型判、584ページ
- 書籍付属ポスター：A0判
- 価格
 - 書籍のみ：880,000円（10%税込）
 - ※本商品にオンラインサービスはありません。
- 発行：日経BP